

CTM サーバにおける静的 CORBA リスナー ポートの使用

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[トポロジ](#)

[静的な CORBA リスナー ポート](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco Transport Manager (CTM) サーバに静的 CORBA リスナー ポートを実装する方法について説明します。この手順では、CTM サーバとネットワーク要素 (NE) 間に存在するファイアウォールで解放される必要がある TCP のポートの数を削減できます。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- CTM

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- CTM バージョン 4.6.x および それ 以降

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

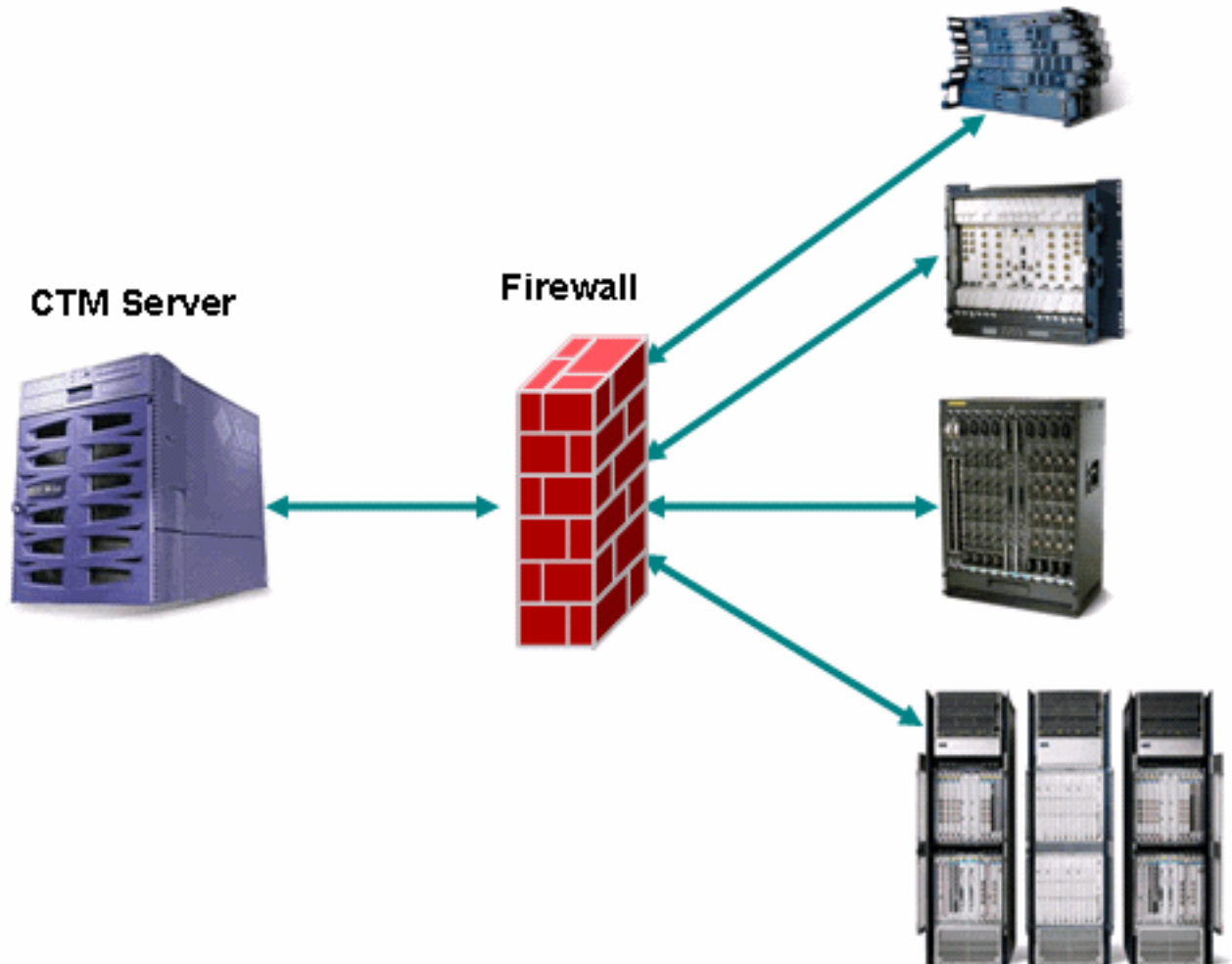
表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

トポロジ

図 1 トポロジーを描写します。ファイアウォールは NE から CTM サーバを分けます。すべての NE はファイアウォールの中であり、CTM サーバはファイアウォールの外部にあります。

図 1：トポロジ





静的な CORBA リスナー ポート

CTM サーバと NE 間のファイアウォールはサポートされる構成です。CTM サーバの CORBA Internet inter-ORB protocol (IIOP) リスナー ポートはデフォルトでダイナミックです。CTM サーバと NE の間の存在がいくつかの TCP ポートをオープンにする必要があるファイアウォール。TCP ポートの数は 1024 ~ 65535 の範囲にある必要があります。


セキュリティリスクを軽減するために、Cisco は CTM サーバのスタティック CORBA リスナー ポートを使用することを推奨します。静的ポートはファイアウォールで開く必要がある TCP ポートの数を減らします。次の手順を実行します。

1. `/opt/CiscoTransportManagerServer/bin` ディレクトリに参照して下さい。
2. CTM を停止するのに `ctms-stop` を使用して下さい。
3. ルートとして CTM サーバにログインするのに Telnet を使用して下さい。
4. `/opt/CiscoTransportManagerServer/bin` にディレクトリを変更して下さい。

5. 行の前にこの行を挿入するために `jne454.sh` ファイルを編集して下さい ( の矢印 A を [2](#)) 参照して下さい。 `-Dong.orb.iioplistenerport = port number` \ 推奨されるポート番号は 5555 です。 5555 が選択される場合、 `-Dong.orb.iioplistenerport=5555` \ 入力して下さい: 

2 – `jne454.sh` の部分的なリスト

```
-Djacorb.net.socket_factory.port.min=1024 \  
-Djacorb.net.socket_factory.port.max=65535 \  
-Djacorb.retries=0 \  
-Djacorb.connection.client.pending_reply_timeout=120000 \  
-Djacorb.delegatewait=120 \  
-Dctm.persist.enable=false \  
-Dctm.xmlFW.processFaults=true \  
-classpath LAUNCHER.jar:$CTMSHOME/bin/CfgMgr.jar:$CTMSHOME/bin/security.jar:$CTMSHOME/openfusio  
-a `grep server-host $CTMSHOME/cfg/CTMServer.cfg | awk '{print $3}'` \  
$2 $3 $6 $7 1> $OUTFILE 2>&1 &
```



6. CTM サーバがファイアウォールの外部にある場合、TCPポート 5555 にはじまってファイアウォールの TCP ポートの範囲を開いて下さい。範囲は NE の数、しかし割り当て少なくとも 150 に応じてあります。
7. `/opt/CiscoTransportManagerServer/bin` ディレクトリに再度参照して下さい。
8. CTM を変更を設定するために再起動する `ctms-start` を使用して下さい。

関連情報

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)